

6月22日 全校集会

先日あるニュースを観て、私たちの生活にも影響しているなあと感じたことをお話します。現在、アメリカ・イスラエルとイラクの対立により戦争が起きています。

遠い海外で起きている他人事ではなく、私たち歌島中学校にも影響が及んでいます。イラクのホルムズ海峡封鎖により、世界中のいろんな国の輸出入が困難になっています。日本の貿易にも影響は及び、様々な原料・資材の価格高騰、品不足の結果、歌島中学校の施設の修理などが止まっている状況です。無関係ではないのです。

その戦争は、お互いの主張を押し付け合うことが原因で起きています。あるときは宗教の差別、またあるときは人種の違いによる差別が戦争にまで発展しています。

同じようなことが学校生活でも起きていませんか？自分が正しいと思っていることを他人に押し付けてしまうと、誰かがつらい思いをしたり、苦しい思いをしたりします。私たちも知らず知らずのうちに偏見を抱いていたり、心の中に差別の芽があったりしないでしょうか？歌島中学校は胸を張って「差別やいじめのない学校だ」と言い切れるでしょうか。

私の好きなパンクロックバンドで「THE BURUE HEARTS (ザ・ブルーハーツ)」という方たちがいます。そのバンドの曲に『青空』という曲があります。歌詞の中には、人の心の中にある偏見や差別意識を問う内容がちりばめられています。

「生まれたところや 皮膚や目の色で いったいこの僕の何がわかるというのだろう」
この部分は人種差別の愚かさを歌っていると考えられます。

「誠実さのかけらもなく 笑っている奴がいるよ 隠しているその手を見せてみろよ」
この部分は、まじめなふりをして毎日を過ごしているけど、本心はどう？ととらえることができます。

大人の私たちでも感じるところがある曲です。多感な十代の皆さんには、何か感じてくれるはずだと信じてお話ししました。『青空』一度、聴いてみてください。